

不活化インフルエンザワクチンと 経鼻インフルエンザワクチン どっちがいいの？

日本小児科学会によると**有効性に違いはありません**。日本国内ではその有効性のちがいが分かるような臨床試験がおこなわれていないからです。しかし接種方法や接種該当者など違いがあるためご紹介いたします。

※ここで言う不活化インフルエンザワクチンとは従来の注射によるインフルエンザワクチンです。経鼻ワクチンとは経鼻弱毒生ワクチンで、昨年承認された鼻に噴霧するタイプのインフルエンザワクチンです。(商品名:フルミスト点鼻薬)

	不活化インフルエンザワクチン	経鼻弱毒生ワクチン
年齢	6ヶ月以上	2歳から19歳未満
接種方法	皮下注射	鼻に噴霧(スプレー)
回数(1シーズン)	6ヶ月～13歳未満 2回 13歳以上 1回	1回
副反応	接種部位の腫れ、痛み、硬くなる	59%鼻閉、鼻づまり 10%以上 咳、喉の痛み ※ワクチン接種後インフルエンザ迅速検査が陽性となることがあります
接種該当者	6ヶ月以上のすべての人 妊娠・授乳中もOK	ゼラチンアレルギー、喘息患者はNG 免疫不全患者、妊婦授乳婦およびその家族もNG(水平伝播するため)
持続効果	接種後1, 2週で抗体が作られはじめ、1ヶ月がピーク。その後徐々に減少するが4, 5ヶ月は持続する	接種後2週間で抗体が作られる。海外の試験で、1回接種でもインフルエンザの発症予防効果が示されたとの報告はあるが、持続効果については不明

千代田区では生後6ヶ月から高校3年生相当の方までどちらのインフルエンザワクチンも**無料で**接種していただけます。(2025年より経鼻弱毒生ワクチンも助成対象となりました)

痛い？ 痛くない方？ でも妊娠中だし・・・それぞれメリット・デメリットはあります。各ご家庭にあった接種法をご提案させていただきますので遠慮なくお声がけください。**ご家族皆さんで同時に接種**できます。Web、LINE、お電話よりご予約受付中です。